

区分	課 題	課 題 項 目	検 討 内 容	必要な資料及び調査方法	
森 林		4．森林整備の方向について	・ 昨年の台風23号により多くの植林木が倒壊しており、今後の治水対策を検討するうえで、災害に強い森林づくりが必須である。 災害に強い森林づくりについて資料収集	・ 災害に強い森林づくり ・ 健全な森林を育成するための林政の方向	担当課から資料収集
		5．保安林（水源かん養等）の配備状況及び管理状況	・ 保安林指定の状況及びこれからの指定方針、整備について	・ 指定の方向 ・ 整備方法、内容等事業計画 ・ 治山事業計画について	ヒヤリング
農 地	治水対策上 農地が果たす役割	1．農業の有する多面的機能について (ア) 水源かん養機能 ・ 洪水防止 ・ 地下水かん養 (イ) 河川流況安定機能 (ウ) 土砂災害防止機能 ・ 土壌侵食（流出防止） ・ 土砂崩壊防止	・ 森林と同様の方法で武庫川流域の森林について評価	・ 評価について担当部局に依頼	
		2．農 地 (ア) 農地を緊急時に遊水地として利用 (イ) 畦畔の嵩上げによる貯留効果 (ウ) 農地を遊水地に利用する際の地役権の設定	・ 農地（水田、畑）の耕作状況及び今後の土地利用について ・ 圃場整備水田の嵩上げによる遊水地確保 ・ 地役権の設定状況	・ 市町別農地（水田・畑）面積 ・ 市町別転作田、放棄田面積 ・ 水田（圃場整備）状況 ・ 先進地事例の資料収集	担当課のヒヤリング

区分	課 題	課 題 項 目	検 討 内 容	必要な資料及び調査方法
農 地		3 . ため池 (ア) 老朽ため池 (イ) ため池の雨水貯留	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽ため池を貯留地として利用 ・ ため池により一時貯留し洪水軽減を図る ・ 空き容量による雨水貯留効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽ため池の現状について担当課から資料収集 ・ ため池10,000㎡以上 (資料あり)
流 域 管 理	交流の推進	1 . 上流、中流、下流は、互いに理解を深めることにより治水対策が図られる。 上流 保全 労力、資金不足 中流・下流 災害防止 労力、資金豊富	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域は一つの運命協同体であるという認識のもと 互いの理解を深めるため交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県矢作川流域における矢作川方式の先進事例 資料収集